

令和7年度アスベスト大気濃度調査結果について



環境省では、アスベスト（石綿）による大気汚染の状況を把握するために2005年度より毎年大気中のアスベスト濃度を調査しており、このたび、2025年度の調査結果を取りまとめました。概要は以下の通りです。

1) 調査地点：全国42地点（解体等工事現場や旧石綿製品製造事業場等を対象）

2) 測定方法：「アスベストモニタリングマニュアル（第4.2版）」
（環境省水・大気環境局大気環境課）

3) 調査結果

○地域分類別（42地点）における調査結果

・発生源周辺地域（調査実施12地点）

…総繊維数濃度の幾何平均値：0.083～0.10本/L

・バックグラウンド地域（調査実施21地点）

…総繊維数濃度の幾何平均値：0.068～0.11本/L

・解体現場（施工区域周辺）（調査実施9地点）

…総繊維数濃度の幾何平均値：0.15本/L

○石綿繊維濃度の結果

2試料において総繊維数が1本/Lを超え、走査電子顕微鏡法により1試料で石綿繊維数濃度が1本/Lを超過しました*。

※環境省の近年のモニタリング結果から、一般大気環境中の総繊維数濃度が概ね1本/L以下であることから、飛散・漏えい確認の観点からの目安を石綿繊維数濃度1本/Lとしています。

当社ではアスベストの分析に実績と豊富な経験があります。詳しくは、当社分析担当者（フリーダイヤル0120-01-2590）までお気軽にお問い合わせください。

資料 [2026年3月31日付 環境省報道発表資料](#)

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 さいたま市南区大字太田窪2051-2
TEL.0120-01-2590 FAX.048-886-2817
URL: www.knights.co.jp

PFASの小冊子進呈中！

PFASとはPFOSやPFOAなどの有機フッ素化合物の総称で、撥水、撥油性を有し、難分解性で安定しているために、様々な製品に使用されてきました。しかし、その安定性から環境中の残留性や生体内への蓄積性が問題視され、国内外で規制の動きがあります。

当社では、PFASの規制などに関する情報を小冊子としてまとめ、希望者に進呈いたします。

お問い合わせはこちら